

43年間90万人の 成長を見守ってきた 交通安全のお守り。

放課後の校庭や広場で、歓声を上げながら駆け回っている子ども。父母や祖父母ら周囲の愛情を受け、まっすぐに成長していった中だ。しかし、世の中には危険もいっぱい。その一つが交通事故。道路は歩行者や車両が行き来する場。ちょっとした不注意が、取り返しのつかない事態を招きかねない。道路を歩き始めたばかりの小学1年生の場合、本人も周囲も特に注意が必要だ。

JAグループでは、小学校に入学する1年生にランドセルカバーを贈っている。目立つ黄色のナイロン製で、白い反射材付き。自動車の普及とともに交通事故が増えてきたため、1976年から毎年、プレゼントしている。これまでに県内でおよそ90万人。継続的な取り組みで、小学1年生のシンボルともいえるカバーになった。ランドセルを使わない学校に通う子どもには、黄色の手提げかばんや腕章を贈っている。

安全に道路を歩いて移動できる力を身に付け、将来は幼い子どもにも優しいドライバーになってほしい。そして、その基礎を養う間、黄色のランドセルカバーが「お守り」となり、地域の大人や上級生に温かく見守ってもらえたら——。それが私たちの願い。



知って
納得JA

Q JAの組合員って何をすればいいの？

A JAの事業と活動に積極的に関わり、元気なJAを築くことが大切です。

JAは願い（課題やニーズ）を共有する組合員が集まって、組合員自らが事業と活動を通じて願いをかなえることを目的とする協同組合であり、組合員がJAの主人公です。

さらに、組合員はそれぞれ性別や年齢などが異なり、思いや願いもさまざまなため、組合員の中で思いや願いが近い人々が集まった「組合員組織」をつくり、これらの活動への参加を通じてJAの運営にも積極的に関わっています。

JAグループでは、これからも組合員との対話を進め、組合員が元気な主人公となることで、活力あるJA・地域社会を築いていきます。



耕そう、大地と地域のみらい。

JAグループ群馬